

セッション 8 : 地域研修・校内研修ワークショップ ワークシート

地域研修・校内研修案を考えましょう

2月17日(水)		北海道 会場	(中学校 B)グループ
地域研修・校内研修の概要			
1	目的	情報モラル教育の重要性と必要性を全職員が理解し、詳しい指導計画に役立つような実態調査作成と実施につなげる。その後、教師の情報の知識習得と生徒の情報モラル教育の指導計画を立てていくことを目的とする。(情報モラル教育の実際の推進は次年度となる)	
2	研修対象者	教員向け	
3	研修種別	悉皆研修	
4	回数・実施時期 (年間計画)	<p>【年間4項目 (詳細時間は別途考慮する必要がある)】</p> <p>1 学期 ①なぜ情報モラル教育が必要なのか?</p> <p>1 学期 ②実態把握 (まず最初に)</p> <p style="padding-left: 40px;">・プロフ ・端末機 ・SNS . . .</p> <p style="padding-left: 40px;">我々の情報セキュリティー</p> <p style="padding-left: 40px;">(成績管理・名簿管理・教務手帳・パスワード)</p> <p>2 学期 ③教師への情報社会の理解・指導</p> <p>3 学期 ④子供への指導内容 (全校の取り組みとしてどうするか)</p>	
5	研修時間	現段階では想定不能	
6	具体的内容	<p>現在、持っている全国のデータをもとに、情報教育の必要性を訴えていきながら、本校の実態を把握する必要性を全職員が理解する。</p> <p>まずは、すべき実態調査が行っている場合でも調査項目が古くなってきており、調査内容自体が実際にあっていない場合もある状態である。先生方に研修内で調査項目を考えていくことで、理解が深められていくと考える。その際に、世代の違いによって、若い教師は実際にプロフを作っていたりと世代のギャップがある (モバイルツールの使用に関しても教師間の差がある) ので、その差をうめていくことも必要である。座談会を中心にその世代ギャップを埋めていく作業を行いながら、実態調査の必要性と項目の精選を図る。～以下略～</p>	
7	教材	なし	
8	研修形態	座談会	

9		分	研修内容・活動	資料等
	<p>1 回の展開案 (具体的に記載)</p>		<p>なぜ情報モラル教育が必要なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> = 研修講師 = 訳のわからない60歳 = 教務マニア = どっちつかずの30代 = 忠実な教師で困惑ぎみ = 危険を全く知らない暴走教師 <p>【次年度の研修内容を審議する会議】</p> <p>来年度の研修を審議しています。</p> <p>① 情報モラル教育はたいせつだあ！</p> <p>情報モラル教育に話が傾きます</p> <p>② ちょっと語る</p> <p>意味不明な用語が連発します</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 年寄りがきれます ④ 暴走教師があほな説明を連発します ⑤ いろいろ起きます <p>講師が不登校の原因となったメールを見せる</p> <p>⑥ 一同納得</p>	

です。私のファンの人何年生ですか？

2 . 3年生ならHしてもOKですよ。❤️

場所はわたしの家かあなたの家をお願いします。

私の家は昼から夜の10：00まで親がいないです。その他にいい場所があればそこでもOKですよ。

090 - 0000 - 0000

